

燃ゆる感動かごしま国体に向けて

1月30日、1回目となる燃ゆる感動かごしま国体曾於市実行委員会が開かれました。今年、第75回国民体育大会が48年ぶりに鹿児島県で開催されることに伴い、この委員会が設立されました。会議では、市民や関係団体、行政などが一丸となって取り組む必要があることや競技等の概要について説明がありました。今後は具体的な運営面・広報等についても協議していく予定です。（詳細はP30）



設立されたかごしま国体曾於市実行委員会

30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞

11月14日、令和元年度公益社団法人全国スポーツ推進委員連合の表彰において、末吉町の清田定光さんと木谷博雄さんが30年勤続スポーツ推進委員表彰を受けられました。お二人は曾於市のスポーツ活動の促進のため、スポーツ推進委員としてスポーツイベントの協力や市民へのスポーツ指導などを30年以上行っており、今後も二人のご活躍が期待されます。



受賞した清田さん（左）と木谷さん（右）

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

市民の人権を守る「人権擁護委員」の委嘱式

2月18日、法務大臣から交付された委嘱状の伝達が行われました。今回、委嘱された方は末吉町の中山壽子さん（4期目）、小原忠教さん（2期目）、大隅町の丸岡純昭さん（2期目）、財部町の水枝谷孝志さん（新任）、坂口利幸さん（新任）となっております。市には9名の人権擁護委員がおり、市内で人権侵害等のないよう人権相談をはじめ各種活動に取り組んでいます。



今回委嘱された人権擁護委員の方々

笑いあり、感動ありの女性大会

2月1日、曾於市女性団体連絡協議会主催の第14回曾於市女性大会が末吉総合センターで開催されました。市内で活動する女性団体を中心に約724名が参加。会では参加者全員で市民憲章を唱和し、柳迫小学校児童による合唱・太鼓がありました。その後の講演会では、元オリンピックランナーの松野明美さんを講師に招き参加者は笑ったり、感動しながら講演を聞いていました。



講師の松野明美さん



黒豚肉の入ったカレーを味わう柳迫小学校の児童

2月10日、肉の日になんで株式会社ナンチクが曾於地区の全小中学校に給食用の黒豚肉6747食分を提供しました。この日は柳迫小学校で出前授業があり、ナンチクの飯ヶ谷さんがクイズを交えながら講義を行いました。黒豚とさつまいものカレーを食べた和田ゆりんさんは「お肉の授業を受けたので、より一層おいしく感じます」と感想を述べました。

ナンチクが小中学校に黒豚肉を提供



豚の骨に触れる児童たち



出前授業のようす

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

曾於市を学ぶ「そお学検定」実施

2月15日、財部町と大隅町の中央公民館で第2回となるそお学検定が行われました。これは昨年の9月に発行した「そお学ドリル 中級」を元に行われた検定で人数は4名が参加と少なかったものの、全員が高得点で合格となりました。合格者には曾於市の特産品が贈られました。参加者は「曾於市のことをよく知ることができたので、また次回があれば挑戦したいです」と話しました。



一生懸命に問題を解く参加者

曾於高校が交通安全コンテストで優秀賞

2月10日、セーフティ・チャレンジ交通安全コンテスト2019で曾於高校がバイク通学生対象の団体優秀賞に選ばれました。これは同僚や友人とチームで安全運転を競うもので、同校は群を抜く好成績を出し、1997年コンテストがスタートして以来、初の団体優秀賞となりました。文理科の萩原良介さんは「これからも安全運転に心掛けます」と話しました。



代表して表彰を受ける萩原さん（左）

本格焼酎「一人蔵」が総裁賞代表受賞

2月17日、鹿児島県本格焼酎鑑評会で総裁賞代表を受賞した木場酒造有限会社の木場社長が来庁されました。毎年開催される鑑評会では、製造技術や品質向上のためにその年の焼酎の出来栄を評価しています。今年度は県内の103製造場から231点出品。最高位である総裁賞代表受賞した木場社長は「これからも本格焼酎の可能性を信じ励んでいきたい」と今後の抱負を述べました。



木場酒造有限会社の木場修一社長

飲酒防止の取り組みで最優秀賞を受賞

2月10日、曾於高校保健委員がビール酒造組合主催の2019年度20歳未満飲酒防止教育学校コンクール高等学校部門で受賞したことを報告に来られました。授賞式では、賞状と副賞の電子黒板を授与されました。曾於高校ではリーフレットを作成・市民祭での配布や保健委員によるアルコールパッチテスト・断り方のロールプレイの授業を行うなどの積極的な取り組みが評価されました。



日本橋で開催された授賞式

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

県トラック協会が小学生へ定規を寄贈

3月2日、公益社団法人鹿児島県トラック協会が交通標識入り定規を市へ寄贈しました。同協会では、この活動を30年以上前から毎年続けています。寄贈された定規は市内全小学校の新入学児に配布され、交通安全への意識を高めてもらう目的で基本的な交通標識が描かれています。協会員は「この定規を活用して交通ルールを学んでもらいたい」と話しました。



瀬下教育長へ定規を寄贈するトラック協会の皆さん

大隅町あつみ会が戊辰戦争の従軍記を寄贈

2月17日、大隅町あつみ会が冊子を市内全ての小中学校・高等学校と図書館に寄贈しました。この冊子は、昨年の岩川郷誕生150周年記念事業の一環で作られたもので、岩川郷誕生に不可欠であった部隊「私領五番隊」の軍師の従軍記（日誌）をそのひ孫が1997年に刊行し、22年ぶりに復刻したものです。澤俊文会長は「今の郷土をつくった先人の思いを知ってほしい」と話しました。



「或る戦兵の庄内戊辰戦争」を寄贈する澤会長



卓球部キャプテンの奥野周さん

**曾於高校卓球部が
県大会で3位の快挙**

2月に行われた鹿児島県高校春季卓球大会で、曾於高校の卓球部が男子団体戦で第3位を獲得しました。

初戦から接戦続きでしたが、4人チーム一丸となつて戦いを進めました。キャプテンの奥野周さんは「次の5月の県総体で上位入賞を目指したい。一戦一戦、高みを見すぎず、堅実にひとつずつ勝っていきたい」と話しました。



学校の武道館で部活動に励むようす

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

新規就業者に認定書を交付

3月17日、市役所本庁で新規就業者支援対策認定書交付式が行われました。この制度は、市の新規就業者を確保・支援するため、認定後2年間に渡って補助金を交付するものです。

去年の5月にシフォンケーキ専門店を開業した末平さんは、「SNSを活用し県内外のお客様にお店を広く知っていただき、地域の商工業の振興に貢献したいです」と抱負を述べられました。



認定をうけた新規就業者のみなさん

家族皆で魅力的な農業経営を目指して

3月17日、市役所本庁で家族経営協定調印式が行われました。この協定は各世帯が意欲とやり甲斐を持って経営向上を目指すため、経営方針や役割分担・就業環境などについて、家族間で取り決めたものを文書化したものです。

今年度は7家族が協定を締結し、6家族が式に出席しました。今後この協定が経営発展に繋がることを期待します。



調印式に出席したご家族の代表者

そお市の旬なニュースをお届け

まちのわだい

絵のまち曾於市に絵画がずらり！ 第37回吉井淳二記念展が開催

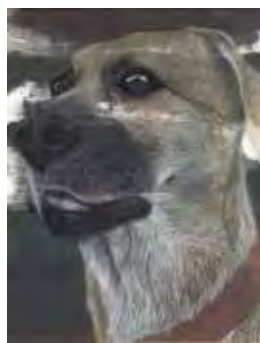


吉井淳二賞 招待作家部門



「街角」
石田 利子（曾於市末吉町）

吉井淳二賞 一般部門



「君は何を想う 2020- IV」
千足 みえ（鹿屋市）

2月22日から3月8日にかけて、末吉総合体育館で「第37回吉井淳二記念展」が開催されました。
応募点数はジュニア部門2419点、高校生部門137点、一般部門138点、招待作家部門22点、小作品部門138

吉井淳二賞 小作品部門



「想いⅢ」
鵜木 ひろ子（霧島市）

吉井淳二賞 高校生部門



「界」
東 晴菜（曾於高校）

点の合計2854点。二科会理事の西健吉先生と枕崎出身で画家の森一浩先生を中心に審査が行われ、989点の作品が選ばれました。
入賞者については左ページをご覧ください。

第37回吉井淳二記念展 入賞者一覧

応募総数2854点

■ジュニア部門（幼児の部）

賞 名	氏 名	学校名
市長賞	遠藤 織羽	しゃらこども園
議長賞	吉留 百々香	覚照こども園
教育長賞	津曲 来希	高之峯保育園
優秀賞	上之原 星蓮	高之峯保育園
優秀賞	萩原 来未	白鳥保育園
優秀賞	加塩 絢菜	岩川保育園
優秀賞	牧之瀬 楓	岩川保育園
優秀賞	假屋 陽斗	スイミーこども
優秀賞	内山 稀唯	大隅中央幼稚園

■ジュニア部門（中学生の部）

賞 名	氏 名	学校名
市長賞	持田 新之助	大隅中学校
議長賞	犬馬場 みのり	財部中学校
教育長賞	坂元 陽南	末吉中学校
優秀賞	野路 結	末吉中学校
優秀賞	馬方 七穂	大隅中学校
優秀賞	春田 莉沙	大隅中学校

■一般部門

賞 名	氏 名	市町村
吉井淳二賞	千足 みえ	鹿屋市
市長賞	鶴ヶ野 玲子	霧島市
議長賞	吐師 良子	鹿屋市
教育長賞	JAMES HARRIS	都城市
ナンチク賞	福重 隆義	鹿児島市
メセナ末吉賞	瀬口 和代	鹿屋市
J A ぞお鹿児島賞	柿崎 覚	東京都
南日本新聞社賞	あんらく ようこ	宮崎市
M B C 南日本放送賞	永田 秀孝	福岡県
N H K 鹿児島放送局賞	肥後 盛秋	鹿屋市
K T S 鹿児島テレビ賞	黒崎 順子	鹿屋市
K Y T 鹿児島読売テレビ賞	窪田 利重	日向市
K K B 鹿児島放送賞	末吉 公子	始良市
宮崎日日新聞社賞	原 美恵子	熊本県
都城市長賞	中山 セツ子	曾於市末吉町
鹿児島県美術協会賞	石原 琢二郎	日置市
大隅美術協会賞	塗木 マサミ	鹿児島市
優秀賞	梶 康宏	鹿屋市
優秀賞	二見 千恵子	宮崎市
優秀賞	榎屋 道治	志布志市

■招待作家部門

賞 名	氏 名	市町村
吉井淳二賞	石田 利子	曾於市末吉町



■ジュニア部門（小学生の部）

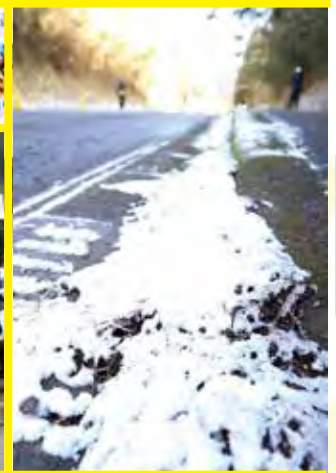
賞 名	氏 名	学校名
市長賞	家入 凛歌	笠木小学校
議長賞	豊永 煌志郎	末吉小学校
教育長賞	勝田 光一郎	末吉小学校
優秀賞	小田 隼士	末吉小学校
優秀賞	佐澤 桜姫	末吉小学校
優秀賞	迫 大夢	末吉小学校
優秀賞	高吉 かな	岩南小学校
優秀賞	谷口 暖	諏訪小学校
優秀賞	領家 悠月	深川小学校
優秀賞	門田 歩武	岩川小学校
優秀賞	藤原 琥珀	岩川小学校
優秀賞	井上 湧陽	月野小学校
優秀賞	西村 颯太郎	財部小学校

■高校生部門

賞 名	氏 名	学校名
吉井淳二賞	東 晴菜	曾於高校
市長賞	小西 ひかる	松陽高校
議長賞	瀬口 亜寿香	宮崎日大高校
教育長賞	黒崎 美羽	曾於高校
ナンチク賞	鈴木 莉沙	松陽高校
メセナ末吉賞	榎木 友香	都城工業高校
J A ぞお鹿児島賞	眞鍋 桜	松陽高校
南日本新聞社賞	森崎 陽菜	松陽高校
M B C 南日本放送賞	窪田 成美	松陽高校
N H K 鹿児島放送局賞	二俣 アンリ	明桜館高校
K T S 鹿児島テレビ賞	玉利 泰一朗	鹿児島情報高校
K Y T 鹿児島読売テレビ賞	川上 力矢	松陽高校
K K B 鹿児島放送賞	鮫島 輝希	牧之原養護学校
都城市長賞	勘場 海月	都城工業高校
鹿児島県美術協会賞	石田 教敬	松陽高校
大隅美術協会賞	北山 夏羽	松陽高校
優秀賞	鎮守 穂香	玉龍高校
優秀賞	池田 舞音	曾於高校
優秀賞	大濱 統太郎	松陽高校
優秀賞	飛田 衣織	川内高校
優秀賞	東 泰聖	玉龍高校
優秀賞	岩本 怜華	鹿児島女子高校

■小作品部門

賞 名	氏 名	市町村名
吉井淳二賞	鶴木 ひろ子	霧島市
市長賞	塗木 マサミ	鹿児島市
議長賞	須下 広光	霧島市
教育長賞	大田 透	三股町
優秀賞	本田 廣子	霧島市
優秀賞	三田 公子	曾於市財部町
優秀賞	犬童 スズ子	曾於市末吉町
優秀賞	中村 美智代	枕崎市
優秀賞	伊集院 正	宮崎市
優秀賞	宮元 哲平	鹿児島市
優秀賞	釜 朱里	熊本県
優秀賞	古川 正彰	霧島市
優秀賞	楠原 優子	都城市
優秀賞	工藤 孝城	大分県



2月18日(火)

第67回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が2月15日～19日にかけて開催されました。郷土入りの4日目は、明け方まで雪が降っていましたが日中には晴れ間が見え、沿道からは多くの人々が熱い声援を送っていました。日間1位を目指す曾於チームは、2区の野村昭夢選手が区間新記録で1位に躍り出ます。その後9区まで3位をキープし、最終10区の増田悠大選手が終盤に逆転。曾於チームは日間2位となり、5日間を走り終えた総合順位は8位となりました。

